

◆◆ 教育委員あいさつ ◆◆



教育委員
田中 伏美

ある見守り隊の人が、「子ども達に元気な挨拶をすると、ちゃんと元気な声で返してくれる。」と、楽しそうに話をされました。地域の皆さんはコミュニケーションの先生です。子ども達は多くの体験と関わりの中で「生きる力」を養います。グローバル化やAIが急速に進展する社会に飛び立つ子ども達。主体性を持って何事にも取り組んで欲しいです。放課後のあり方やコミュニティ・スクールを推進できるよう努めます。



教育長職務代理者
坂本 裕文

ことしの2月から教育委員として任命を受けました。長洲町の教育の充実に向けて努力していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

特に、将来の長洲町を担う子どもたちの育成は、町の活力づくりにもつながる重要な課題だと考えます。ふるさとを愛し、夢の実現に向けて、「自ら考え、正しく判断し、行動できる」ように、家庭・学校・地域が一体となって子どもたちを見守り、励まし、育てていきましょう。



教育委員
徳田 美津子

今、長洲町では英語教育が充実しています。幼児、小学生、中学生と切れ目なく外国人講師と英語を学んでいます。長洲町に住んでいる子どもたちは誰でも平等に、この素晴らしい環境で英語を学べるという事です。

ながすっ子が大人になった時、さらにグローバル化が進み、情報化も進むことで、英語を話すことで、様々な国の人と仲良くなって、「ふるさと長洲」のことを堂々と話していける子どもたちを期待します。



教育委員
隈部 壽明

これからの予測不可能な時代に自ら主体的に考え行動できる力を育むことを骨子とした新たな人材育成の方向性が「新学習指導要領」として文部科学省から提示されました。

小学校からの外国語科、特別の教科道徳、情報処理力の育成など、新たな項目が順次導入されます。これには家庭、地域、学校が丸となって取り組むことが求められます。この推進母体がコミュニティ・スクールです。皆さんと共に熱い思いをもって取り組んでいきたいと思います。

◆◆ 中学校の紹介 ◆◆



腹栄中学校
校長 松永 光親
教頭 牧山 純一

教育目標

豊かな心と確かな学力を身に付け、心身ともにたくましく、ふるさとを愛し、夢の実現をめざすために何事にも挑戦する生徒の育成

今年の取組

新入生64人を迎え、全校生徒184人が主体となり、3年生・生徒会を中心とした主体性とキーワード「協働」を大切にした腹栄中スタイルを確立します。

また、生徒の自尊感情を高める学校を目指し、「授業改善」「環境整備」「生徒会活動の充実」に取り組むとともに、PTAと連携し「地域とともにある学校」づくりを意識した、ふるさとを愛し誇りに思う生徒の育成を図ります。

長洲中学校

校長 中山 直幸
教頭 松井 明

教育目標

長洲町を愛し、心のきずなを深め、お互いを高め合う生徒の育成

～ 長洲愛 深め合い 高めあい ～

今年の取組

全校生徒166人と、全職員が一致団結し、行動目標「学校が楽しい100%」（いじめ0・不登校0）日本一の学校づくりを目指します。

また、学力向上（確かな学力の育成）、心づくり（互いに支え、高めあう集団の育成）、体づくり（健全な体の育成と環境整備）を重点に取り組みます。

生徒会は『挑戦～さらなる高みを目指して～』をスローガンに、互いに高めあう教育活動を実践します。



教育ながす

題字：田嶋 里紗（長洲中学校教諭）

NO.63

編集：長洲町教育委員会

☆教育長あいさつ	28
☆教育委員・学校紹介	29～30
☆転入先生紹介	31
☆長洲町の教育	32
☆幼児教育	33
☆各課事業紹介	34～35

◆◆ ごあいさつ ◆◆

1. 自己紹介

平成30年4月1日に長洲町教育長に就任いたしました、戸越政幸です。

私は昭和25年生まれの68歳です。母校の長洲中学校では野球部に所属し、また、長洲中学校陸上競技の黄金時代を築き上げられた、恩師（故人）中島正士先生の熱心なご指導のもと、短距離走を鍛えていただきました。

その後、九州学院高校、福岡大学体育学部に進学し、教師を志しました。卒業後すぐは熊本県の採用試験に採用されず、民間のテニスコートや運動場などをつくるスポーツ土木の会社に就職しました。臨時採用教員を経験しながら再度チャレンジし、28歳で教員となりました。採用通知を手にした時の喜びは今でも忘れられません。33年間の教員生活のうち10年間（教諭8年、校長2年）を腹栄中学校にお世話になりました。

長洲町で育ち、地元の学校にお世話になり、教育行政の立場からまちづくりにご恩返しができればと強く思っているところです。教育委員会職員、一致団結して頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



長洲町教育長 戸越 政幸

2. 私のモットー

- (1) 教育は人なり、教師の情熱で必ず子どもは変容する
- (2) やってみせ、言ってみせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ《率先垂範》（山本五十六の言葉）
- (3) 何とかなる、受けて立つがだいじょうぶ

3. 長洲町教育振興基本計画の推進

教育大綱「ふるさとを愛し、夢をもって
未来を切り拓くひとづくり」
～ 子どもを真ん中に ～

教育委員会では、策定4年目となった長洲町教育大綱の各分野の実践項目の進捗状況を評価しつつ、目標実現のためにさらなる推進を図っていきます。

○小中学校の児童生徒数（人）

平成30年5月1日現在

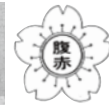
学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	男	女	合計
六栄小学校	40	44	37	29	36	48	129	105	234
腹赤小学校	24	32	31	36	34	34	101	90	191
長洲小学校	31	36	33	39	50	47	132	104	236
清里小学校	19	17	17	15	11	16	50	45	95
腹栄中学校	64	55	65				80	104	184
長洲中学校	61	51	54				86	80	166

転入の先生紹介

氏 役
名 職

六栄小学校

山下 政道 事務主任
増淵 康雄 教諭
城 祐治 校長
上田 佳果 教諭



腹赤小学校

藤吉 智子 特別支援教育支援員
本山 聡珠 養護教諭
柿本 純 教諭
早田 美枝子 教諭
新道 加代子 教諭



長洲小学校

古野 佳名子 特別支援教育支援員
原 みどり 講師
大丸 祥子 教諭
土尾 万里子 特別支援教育支援員
（後列）
山口 聡 教諭
山本 亮 教諭
角田 良明 教諭
（前列）



清里小学校

沖本 光代 特別支援教育支援員
小林 昇吾 事務職員
（後列）
中島 弓恵 教諭
大川 隆嗣 校長
長尾 祐子 教諭
（前列）



腹栄中学校

上野 緩実 養護教諭
野口 龍彦 講師
井上 拓治 教諭



長洲中学校

北野 朝日香 教諭
田上 沙織 講師
後藤 歩未 養護教諭
和田 寿子 特別支援教育支援員
（後列）
松井 明 教頭
中山 直幸 校長
小山 哲矢 教諭
野口 千鶴子 教諭
（前列）

◆◆ 小学校の紹介 ◆◆



六栄小学校
校長 城 祐治
教頭 岩田 秀樹

教育目標

ぐんぐん伸びる「けやきっ子」
～鍛え、ほめ、伸ばす～

今年の取組

大地にしっかりと根を張り樹齢100年を超える「六栄けやき」は、本年度も子どもたちの健やかな成長を見守っています。保護者・地域の皆さんの熱い思いや願いに見守られ、育てられてきた本校の長い歴史を感じます。

平成30年度は、新1年生40人を迎え、全校児童234人、全職員20人でスタートしました。子どもたちは、無限の可能性を持っています。本年度も、全職員が心を一つに、一人一人の子どもをしっかり見取り、そして鍛え、ほめながら、個々が持つ「よさ」や「可能性」の伸長を図っていききたいと思います。また、子どもたちが互いの個性や違いを認め合いながら、一人一人の「頑張り」が輝く学校にしたいと考えています。



腹赤小学校
校長 福田 賢一
教頭 稲田 尚誠

教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム腹赤の仲間づくり

今年の取組

本年度も本校の子ども、教職員、保護者、そして見守ってくださる地域の一人一人が「学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜び」を実感できるチーム腹赤の仲間になることを学校教育目標としています。

これは知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」の育成を意味します。そして、子どもが授業などで「わかる、できる」が実感できるよう指導・支援の工夫改善を図る特別支援教育に強い学校を目指しています。チームには効果的な役割分担と組織的に課題に対応する「連携・協働」の姿勢を込めています。さらに、仲間づくりでは人と人とを豊かな人間関係としてつなぐ同和教育・人権教育に強い学校を目指します。

本校の教育活動をさらに充実したものにできるよう、より一層の工夫改善を図っていくという決意を強くしています。



長洲小学校
校長 甲斐 裕一
教頭 上村 祐二

教育目標

自信を持って未来を切り拓いていく長洲っ子の育成
～不易と流行～

今年の取組

236人の児童、21人の職員で本年度をスタートいたしました。

次の4点を経営方針とし、すべての児童を多方面から見つめ、みんな（学校と家庭・地域）で育てます。

- (1) 子どもの良さや可能性をいかし、自己肯定感を育む教育活動を推進する。
- (2) 家庭・地域とともに活気のある学校づくりを推進する。
- (3) 子どもと真に向き合う時間の確保に努め、創意工夫して指導にあたる。
- (4) 様々な課題に対してはチームとして組織的に対応する。



清里小学校
校長 大川 隆嗣
教頭 高田みゆき

教育目標

「夢をもって何事にも挑戦する児童の育成」
～地域とともに 「豊かな心」、
「確かな学力」、「健やかな体」を育てる～

今年の取組

全職員で教育課題や経営方針等を共有するとともに、職員組織の力強い教育実践を通じて、児童・保護者・地域の信頼に応えられる魅力ある学校づくりに取り組みます。

- (1) 一人一人を大切にしたい指導
- (2) 道徳教育の充実
- (3) 健康で安全な教育環境づくり
- (4) 児童一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進
- (5) 高学年のリーダー性の育成と、異学年のつながりの強化
- (6) 児童の悩みなどの早期発見と早期対応
- (7) 保小中連携の取り組みの推進
- (8) 自己研鑽に努め、お互いが高め合い・相談できる職員組織づくり

本年度は防犯面にも力を入れ、長洲町の児童生徒一人一人がのびのびと安心安全に学校生活を送れるよう、各学校で連携して取り組んでいきますので、今後もPTA活動に対して温かいご支援・ご協力をお願いします。

長洲町PTA連合会
会長 村島 佳行
（六栄小学校PTA会長）
PTA連合会では、町内4小2中学校の会長を中心に、学校の保護者、先生方と力を合わせ、地域の皆さんの協力を得ながら町全体で活動を行っています。また、PTA活動に関する各学校の課題や情報の共有を行い、それぞれの学校での活動に反映し、より良い活動ができるよう取り組んでいます。



ながす
PTA

平成30年度 長洲町の教育

教育大綱

ふるさとを愛し、夢をもって未来を切り拓くひとづくり
～子どもを真ん中に～

基本理念

目指す姿

- 1 社会を生き抜く力を備えた人
- 2 自己を愛し、他者を大切に思う心を持った人
- 3 ふるさとの自然や伝統・文化を愛し、グローバルな感性を持った人
- 4 生涯を通じて学び、夢・生きがいを持った人

“認め・ほめ・励まし・伸ばす”教育行動指標を踏まえた教育の実現を目指して

学校教育

「確かな学力」の育成

「健康・体力」の向上

「豊かな心」の育成

「地域とともにある学校」

放課後の居場所づくりの推進
長洲寺子屋学習塾
長洲ふるさと塾
コミュニティ・スクール推進



英語教育の充実
夢の教室
読書活動機会の充実
道徳教育の充実

- ⑩ 特別支援教育の推進
- ⑪ 開かれた学校づくりの推進
- ⑫ 教育環境の充実
- ⑬ 学校、家庭、地域の連携協力

連携・協力

家庭教育・就学前教育

- ① 家庭教育力の向上
- ② 幼稚園・保育所における教育・保育の充実
- ③ 保護者の経済的負担の軽減



ながさ家庭教育10か条
早寝早起き朝ごはん
「親の学び」プログラム
幼児英語活動（幼稚園・保育所）

社会教育

- ⑭ 人権教育の推進
- ⑮ 生涯学習の推進
- ⑯ 公民館活動の充実
- ⑰ 社会教育団体の指導、育成
- ⑱ 青少年・青少年団体の健全育成
- ⑲ 文化団体の育成と文化事業の充実
- ⑳ 社会教育施設の整備等
- ㉑ 魅力ある図書館事業の推進
- ㉒ 生涯スポーツの推進
- ㉓ 社会体育施設の整備等



「自ら学び、考え、行動する力」
を育てる教育の推進

人権尊重の精神をはぐくむ人権教育を推進する

家庭とともに才能
人間力を育む

認定こども園ひまわり幼稚園
園長 菅原 雅子

幼児期の教育は基本的生活習慣の確立が一番です。その習慣とは「食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱」この五つを小学校までに身に付ける事が大切だと言われていますが、ひまわり幼稚園では、これらに加え、「あいさつ」と「感謝」を日頃から心がけています。

具体的には、日々の繰り返しと家庭との連携が重要です。以前は、園だよりを配布していましたが、最近はスマホやテレビなどの影響もあってか活字離れが進み、子どももしっかり見つける時間が少なくなりました。園では子どもたちに良い環境を与える事に重きを置き、子から親へと流れを変える提案をしています。「子どもが変われば、大人が変わる」「子どもが一生懸命だと職員も保護者も一生懸命」子どもたちは周囲の大人を変える力が不思議とあります。大人も同じですが



▲喜んで親子でものづくり

「認め、褒められる」と喜び、やる気を出し、また頑張ります。そして自信を持つ事につながります。ひとつの事に自信を持てば、何事にもチャレンジしようと自発的に思うようになっていきます。その良い例が、天才 羽生結弦選手です。ご周知の通り彼は、ソチそして平壤とオリンピックで2大会連続金メダルを獲得しました。特に足の怪我で苦しみ、痛み止めを飲みながら滑った平壤での4回転ジャンプの成功は、世界の観客を魅了し素晴らしいものでした。テレビを見ていた私も、金獲得のアナウンスに大きな拍手を送りました。決して表舞台に登場しない

心豊かな明るく
たくましい子どもに

幼保連携型認定こども園
長洲しおかぜこども園
園長 吉村シズ代

本園は、こし3月まで、長洲幼稚園と長洲保育所として運営していましたが、4月から幼保連携型認定こども園として新たな歴史の第一歩を踏み出しました。

長洲の海辺にあり、潮の香りや心地よい風を受けながら元気に遊ぶ子どもたちの健や

ご両親や家族の皆さんもすごい人だと思っています。「自主性」を尊重するのが羽生家の教育方針だそうです。姉のスケートを見て自分もやると4歳の時決めたとのこと。いつも爽やかで優しい印象ですが、喘息や東日本震災、足の怪我に悩まされました。素晴らしい家庭教育のおかげで自分の精神状態を明確に発信できる人へと成長し、安閑の復活を遂げました。幼児期の育ちが人の一生を左右すると言っても過言ではありません。



▲園庭で元気に遊ぶ子どもたち

かな成長を願って「長洲しおかぜこども園」として生まれ変わりました。

認定こども園は、就学前の乳幼児の教育・保育を一体的に行うと共に地域の子育て支援の機能を併せ持つ施設です。今、園内は子どもたちの笑顔や元気な声で活気に満ち溢れています。子どもたちは、遊びや体験を通して「生きる力」の基礎を学びます。

近年、人の生涯にわたる心身の健康や幸せに、乳児期の経験の質がとても重要な意味を有していることが改めて見直されています。私たちは、乳児期からの発達の連続性とそれに応じた学びの連続性を考えて豊かな体験ができる



▲親子のふれあいを大切にしています

また、家庭と連携し、この時期に最も大切な愛着の形成と基本的な生活習慣、「早寝・早起き・朝ご飯」などの生活リズムの確立を目指して取り組んでいます。

環境づくりをしています。好奇心旺盛な子どもたちが遊びや生活の中で主体性を発揮しながら友達と一緒に豊かな経験を積み重ね、自尊心、思いやり、自制心などの非認知的な心の力を身につけて欲しいと願っています。全職員が一人一人の成長を願い、深い愛情を持って認め・褒め・励ましながら保育・教育を行っています。

生涯学習課の紹介

社会教育委員会

社会教育法および長洲町社会教育委員条例に基づき、委員6人を配置し、社会教育に関する諸計画の立案のほか教育委員会に対して、助言を行うなど幅広く活動しています。

文化財保護委員会

文化財保護法および長洲町文化財保護条例に基づき、委員5人を配置し、長洲町にとって重要な文化財を指定し、その保存および活用のため必要な措置を講じ、もって長洲町の文化の向上に資するとともに、本県文化の進歩に貢献することを目的に活動しています。

ながす未来館運営委員会

ながす未来館条例に基づき、委員7人を配置し、教育、学術、文化振興など、ながす未来館での事業計画や事業内容などについて協議を行うとともに、未来館の適正な運営・維持管理に努めています。

スポーツ推進員協議会

スポーツ振興法に基づき、委員15人を配置し、町体育行事への参加協力のほか、地域へのスポーツ指導や町のスポーツ事業への指導や助言、スポーツ振興イベントの企画・運営など子どもから高齢者までの誰もがスポーツに親しむことができるよう活動しています。

『家庭教育推進事業』

幼稚園・保育所、小中学校の児童生徒や保護者、教職員、住民の皆さんを対象に、世代間に応じた、子育てや家庭での教育などをテーマに研修会を開催しています。また、県が推進するくまもと「親の学び」プログラム講座も幼・保・小中学校での実施を推進していきます。



『地域教育コーディネーター育成・活用事業』

学校からの要望を把握し、協力してくれる地域のボランティアを探して学校と地域が協働していく取り組みを行っています。また、学校と地域の橋渡しをしているコーディネーターを育成するとともに地域ぐるみで子どもたちを育てる地域教育力の向上に努めます。



『公民館活動』

中央公民館を拠点にさまざまなテーマをもとに公民館講座を開催しています。小学校校区に設置してある地区公民館では、校区スポーツ大会や見守り隊活動、防災訓練などを実施しています。また、自治公民館では、趣味、教養、健康など住民の学習要求に応えるとともにより身近な生活に即した分野の講座や教室を年間を通じて開催しています。

『生涯スポーツ振興事業』

町民参加のスポーツ大会である「ソフトボール大会」「ベタンク大会」「町民体育祭」「駅伝大会」などの各種大会を開催し、スポーツ活動の楽しさと健康増進、親睦融和を図るとともに、NPO法人長洲にここクラブや総合スポーツセンター指定管理者の長洲町SSC共同事業体と連携し、さまざまなスポーツ活動を推進します。



『人権教育推進事業』

長洲町人権教育推進協議会において、幼稚園・保育所職員、小中学校児童生徒・保護者や関係各団体・企業などの代表者、住民の皆さんを対象に、人権教育研修会や講演会を開催し、人権教育の意識の高揚を図るとともに、啓発活動に努めています。

『読書啓発活動』

町図書館の適正な運営と維持管理をはじめ、魅力ある図書館資料の充実に努めるとともに小学生を対象とした町童話発表会を開催し、童話に親しみ、読書意欲の向上を図っています。また、すべての赤ちゃんと保護者が絵本を通して、心ふれあうひとときを持つため、絵本を無料配布し、読み聞かせの方法やアドバイスなどを行うブックスタート事業を行っています。

『文化財保護活動』

文化財保護委員と連携し、有形・無形の町指定文化財の適正な保護と管理に努め、保存への支援や継承に取り組めます。

『競技スポーツの推進』

町体育協会と連携し、郡民体育祭、玉名駅伝大会への選手・役員派遣、各種団体が主催する大会などへの協力を行いながら、町スポーツの競技力向上に努め、スポーツ関係団体の自主・自立のための支援を図ります。

事業紹介

学校教育課の紹介

【放課後児童クラブ・放課後子供教室】

平成30年度から学童保育と放課後子供教室を一体型として実施しています。学習をはじめスポーツやものづくり文化歴史などさまざまな分野で子どもたちが楽しめる体験の機会を提供します。

【長洲寺子屋学習塾】

学習習慣の定着を図ることを目的に、放課後を活用して「長洲寺子屋学習塾」を実施しています。県内で学習支援などに取り組むNPO法人(特定非営利活動法人)から教員免許状所持者や指導経験者を講師として派遣し、指導を行います。

【長洲ふるさと塾】

夏休みなどに、地域の人材を活用し、ふるさとを愛する子どもを育てる体験活動「ふるさと塾」を各小学校で実施します。



【コミュニティ・スクールの推進】

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めます。

【夢の教室】

青少年の健全育成のため、平成22年度から日本サッカー協会に業務委託して、「夢の教室」を実施しています。現役または元プロスポーツ選手を「夢先生」として迎え、小学校5年生と中学校2年生を対象に、夢を持つことや仲間と協力することの大切さなど実技と講義を通して子どもたちに伝えていきます。



【学校の施設改修】

より良い学習環境づくりのため、平成28年度と平成29年度に小中学校に整備したエアコンおよび地中熱換気システムの適正な維持管理を図りながら、腹米中学校の屋上、改修工事や学校トイレの洋式化など、安心・安全な施設の整備に努めています。

事業紹介

【長洲町総合教育会議】

教育を取り巻く環境が大きく変化している中、町と教育委員会とが互いに連携しながら、町の教育課題やこれからあるべき姿を共有し、教育行政を推進します。



【教育委員会議】

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、学校教育や文化・スポーツなどを含む社会教育に関する事務を管理・執行しています。

また、教育施策を具体化した地域教育計画の主体として、その組織・運営にあたる地域教育の責任機関でもあります。

【小中学校英語教育】

平成29年4月から教育課程特例指定校となり、小学校の全学年で英語の授業を実施しています。外国人講師と楽しく英語に親しみながら、ネイティブの発音を学んでいます。

また、引き続き2人のALT(外国語指導助手)を中学校と小学校高学年の授業で活用し、児童生徒の英語力向上を図っています。



【就学援助制度】

経済的理由により就学が困難と認められる児童または生徒の保護者に対し、教育に係る費用の一部を援助することにより義務教育の円滑な実施を図ります。

- ◆援助内容
学用品費、学校給食費、修学旅行費、医療費など
- ◆申請時期
毎年6月頃に、学校を通じて、申請を受け付けます。
※学期途中の転校者や、諸事情により経済状態が悪くなった場合は、随時申請を受け付けます。

【適正就学相談支援事業】

NPO法人与自然が連携し、不登校などの小中学校の児童生徒に対して、一人一人の状況に応じた支援を行い、安心して学習できるよう学習環境の体制を整えます。

【教育相談支援事業】

悩みを抱える児童生徒やその保護者、学校に対して相談支援を行い、状況に応じて家庭訪問や課題解決のためのプログラムを行います。